キラリ天草人

金焼校区活性化推進協議会焼酎部会

オリジナルの芋焼酎で地域活性化を目指す

ラベルに描かれた力強い文字と絵が目を引く焼酎「金焼」。黒麹仕込みのまろやかな味わいが特徴で、材料には金焼校区で生産されたサツマイモが使用されている。この焼酎を製造しているのは、同校区活性化推進協議会の焼酎部会だ。

同協議会は、人口減少で地域の活力が失われている現状を「なんとかしたい」と平成10年に設立され、夏祭りや花いっぱい運動、自主防災活動など、地域活性化に取り組んできた。

焼酎作りもその一つで、平成20年、当時はやっていたオリジナル焼酎づくりにヒントを得て取り組み始めた。年に1度新酒を販売し、今年で13代目となる。

5月ごろに行う芋のつるの植え付けや11月の収穫は、農家と一緒に作業している。「できた焼酎をみんなで飲むのが楽しい。新型コロナウイルスが落ち着いたら、また反省会がてら飲みたか」と笑う会長の吉田敬二さん。

この活動で得た収益は夏祭りや自主防災活動などの地域づくり活動に使用しており、自分たちで得た収入を地域のために使うことにとてもやりがいを感じているという。原料には自家消費が多かったサツマイモを買い取っていて、農家の利益にもつながっている。

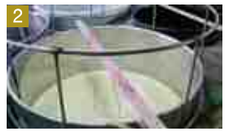
令和元年、その取り組みが評価され、県から、※「くまもと里モン賞」が贈られ、活動への誇りとなった。

近年、農家の減少でサツマイモの確保が心配である。農家が継続して生産できるよう会員で協力し、この焼酎を守っていくことが会員の思いだ。

地域への思いが詰まった焼酎「金焼」をぜひ味わってほしい。

※「くまもと里モン賞」…農林水産業を中心に豊かなむらづくりを行う団体を表彰する

■販売について…7月1日からグリーントップ本渡店で13代目を販売予定。



1 令和２年11月の収穫作業。この日は1.4ｔほど収穫
2 あさぎり町の酒蔵に委託し、黒麹仕込み、常圧蒸留法で製造
3 ラベル「金焼」の文字や金焼港の絵（中央）は金焼校区の住民や出身者が描いたもの

exploration of history

天草 文化財探訪

地域の歴史を知る上で欠かせないのが「文化財」。天草市には206もの指定・登録文化財があります。今回は、天草町の建造物をご紹介！

問 文化課 ☎32-6784

国登録文化財 旅館白磯（しらいそ）（天草町高浜南）平成26年12月19日登録

Vol. 004

宿泊できる文化財「旅館白磯」は、昭和12年に赤崎伝三郎（でんざぶろう）が自宅として建てたもので、和洋折衷の建物は当時、珍しいものでした。戦前の天草を代表する大規模な邸宅であること、長崎との交流が深い天草で洋風の館を備えた建物であることが評価されています。

赤崎伝三郎は、明治時代にマダガスカルでホテルや映画館などの経営に手腕を発揮。日露戦争時、日本へ向けて出発したロシアのバルチック艦隊の情報をインドの日本領事館へいち早く知らせた人物として知られています。この一報もあり、東郷平八郎率いる日本海軍は奇跡的な勝利を収めました。

文化財には本館、離座敷（はなれざしき）、倉庫が登録されており、事前に連絡をすると館内や赤崎伝三郎に関する写真・資料などを見ることができます。

見学・宿泊 旅館白磯 ☎42-0021

天草 見どころ図鑑

竜洞山（新和町）

新和町小宮地地区にある竜洞山。山頂からは、獅子島や長島、八代海が一望できます。山道沿いには、昔から新和町に伝わる「しんわ楊貴妃伝説」にちなんだ楊貴妃観音像が祀られています。

キャンプ場もあり、訪れた人たちを魅了する景観スポットになっています。

★見どころポイント

秋から春にかけての早朝には、気象状況によって雲海が見られるかも！